

社協だより多可

みんなが安心して暮らせるまちに！

学校や地域で広がっています！ 福祉学習☆



手話歌を学んで
発表しました！

中町北小学校
手話歌学習



高校生が
チャレンジ！
視覚障害者体験！

多可高等学校
視覚障害者体験



何が取り組めるか？
集落で話し合い！

加美区市原
学習会

社協では、みんなが安心して暮らせるまちづくりを進めるため、福祉に関心を持ってもらい、ボランティア活動などへの理解やきっかけづくりの場として、町内の小学校や高等学校、特別支援学校、ボランティアと一緒に福祉学習に取り組んでいます。

また、集落に住む人同士の支え合いを進めるために集落での福祉学習を支援しています。詳しくは2ページ以降をご覧ください。

発行

社会福祉法人

多可町社会福祉協議会

多可郡多可町中區庵屋434番地11

TEL(32)3425

FAX(32)4162

特集「福祉学習」

2/4

ボランティアセンターだより

特集「地域福祉活動助成事業」

ボランティア養成講座案内(傾聴・点訳)

5

みんなの広場・介護相談

無料法律相談

6

福祉パズル・福祉カレンダー

7

善意銀行・介護者の会入会案内

ボランティア募集

育成会防災研修会報告

8

4月号(No.123)
2017年4月1日発行



「多可町
社会福祉協議会」

(@taka.syakyo.jp)



「多可町
社会福祉協議会
@公式」

(@takacho_syakyo)

特集

平成28年度の福祉学習紹介！

平成28年度に行った内容と児童・生徒の感想を紹介します！福祉学習では、車いすの方や目や耳に障害のある方、点訳や手話といったボランティアの方も一緒になって授業を進めています。

朗読ボランティアに挑戦！



中町北小学校 朗読体験

「目が見えない人でも、私たちが音読をすれば、本の中の言葉が分かるんだなと思いました。私たちがマイクの前で言った言葉が、目が見えない人たちに伝わると嬉しいです」

～CDを聞かれた視覚障害者の感想～

「4年生のみなさんの一生懸命さが伝わってきました。またこんな機会があったらお願いします」

身振りで挑戦「飛行機」?! 上手く伝わるかな?!



中町南小学校 手話体験

「自分の名前が講師の藤本さんに伝わったので嬉しかったです。」

今度耳の聞こえない人がいて困っていると、手話は分からないけれどできる限りの身振りで、困っていることを解決したいなと思いました」

自分の名前を点字で 打ってみました!



杉原谷小学校 点字体験

「目の不自由な人には、目からの情報が少ししか入ってこないということはすごく困るんだなと思いました」「自由に点筆などの道具が使えるのだったら目の不自由な人が暮らしやすいようにいろんなところに点字を打ってあげたいです」

お年寄りの気持ちになって 買い物をしました!



松井小学校 高齢者疑似体験

「高齢者の人に『早くして』と言っている人がいたら、教えてあげたいです。」

お金もつかみにくいので、店員さんに金額を聞いて、財布から取ってあげたりしたいです。高齢者の人の気持ちを考えて行動したいです」

車いすで生活されている方の
気持ちを学びました！



八千代小学校 車いす体験

「講師の森脇さんが言っていた"心のバリアフリー"の意味をいつまでも忘れないで、困っている人がいたらすぐにつけて助けようと思いました」

～関わったボランティアの感想～

「子どもたちは、体験をすることで、自信と勇気が身についていくのだと実感しています」

目の不自由な方の
お話も聞きました！



多可高等学校 視覚障害者体験

「ガイドヘルプは本当に難しいと思いました。視覚障害者の命を預かって、その人の目になって、常に慎重に行動しなければいけないことが分かりました」「これから目の見えない人と出会うことがあったら、サポートしてあげたいし、その人がケガをしないような環境を少しでも作れるように努力したいと思いました」



町内にどんなボランティア活動が
あるのか知りました☆

北はりま特別支援学校 ボランティア学習

「多可町内で社協の方がどのようにボランティア活動を進めておられるかがよく分かりました」「これからも自分にできるボランティア活動に参加しようと思います」

町内には、高齢者や障害者、妊婦や子どもなど、様々な人が生活をされています。誰もが安心して暮らせるように、福祉学習を通して自分ができることを考えてほしいと思っています。

※福祉学習は地域のみなさんから寄せいただいた
共同募金の配分金を財源としています。



集落での福祉学習の取り組み報告 市原集落編

市原集落では、12月18日（日）と2月19日（日）の2回にわたり福祉学習会が開催されました。1回目はこれまで開催した集落と同様に、「困った時にしてほしいこと」「お手伝いできること」を6グループに分かれて話し合わせ、2回目は、前回出た課題解決のために、市原集落として具体的にどう取り組んでいくかの話し合いをされました。

■ 1回目に出た意見（一部抜粋）

☆困った時に してほしいこと	・送迎（通院、買い物） ・掃除、家の周りの除草 ・年金の引き出し ・大勢でご飯を食いたい	・食事を作ってほしい ・灯油を入れてほしい ・見守り、声かけ ・畑仕事	・布団干し ・手続きの代行 ・話し相手 ・日役の代行
☆私ができること ☆協力してできること	・送迎支援（通院、買い物） ・電球の取り換え ・ゴミ出し、資源ゴミ出し ・声かけ ・一緒に飲みに行く ・シェアハウス	・買い物の代行 ・食事の手伝い、おかずのおすそわけ ・パソコンやスマホの操作、電化製品の説明 ・話し相手 ・隣近所、皆で集まってご飯を食べる ・農作業の手伝い	

*『してほしいこと』と『できること』が一致しているので、上手くシステム化ができればカバーできることも多い。

*高齢者だけのことを考えるのではなく、どうすれば若年層や跡取りが住みやすくなるか、その人たちのために何をしてあげられるのかを検討すべき。…などの意見が1回目の話し合いを終えて出ていました。

■ 2回目に出た意見（一部抜粋）

- ・「見守り」をすることが大事で、その見守りの中で気づいた困りごとを隣保ごとの密な関係でカバーしていく。その際、お金をもらうのか、何かのついでにできるのかなど、ルール作りと手間が難しい。
- ・いきなりシステム化することは難しいので、人が集まる場で「してほしいこと」を掲示板などに貼り出し、「私ならこれができる」という人が対応するなど、今すぐにできる方法で進めていく。
- ・システム作りが必要。コーディネートを行う窓口になる人が大事。
- ・送迎や草刈りなど困りごとを頼むにも気を遣うので、有償の登録制の検討。
- ・コーディネートの方法はSNS（ラインなど）を活用してはどうか。
- ・話し相手や大勢でご飯を食べることなどは、「サロン」「喫茶くまの」「お祭り」など、見守りは「月初めの配り物」「消防団員の見廻り」「愛育班員の訪問」など、今ある活動をうまく活かして次の段階に結びつけていく。
- ・退職した人で、電気や農業、大工など得意な人がグループを作り、手伝う仕組みを作る。
- ・自分たちの10年後、20年後のことより、「今困っている人は誰で」「何に困っているか」「手伝える人は誰なのか」という把握をすることが優先。
- ・農業（野菜作り）や音楽（オカリナ、ギターなど）、特技を教える場を作ってはどうか。
- ・子どもと一緒に何かをして、子どもたちが活躍できる場を作る。若い人が帰ってくる地域作りを考えていかなければ！



2回目の話し合いでは、「有償制や登録制を導入するなどし、支え合うためのシステムを作っていこう！」と、具体的な取り組み方法がたくさん出ていました。大勢が集まって話し合いをすれば、たくさんの意見や解決策が出るものですね。市原集落では今後も引き続き話し合いを進めながら、2回の学習会のテーマであった『安心して暮らせる市原集落』を目指されます！

ボランティアセンターだより

特集

地域福祉活動助成事業

～みんなが安心して暮らせる多可町を目指して～

多可町社協では、多可町の地域福祉の推進を図ることを目的とした団体やグループに、下記の条件で助成を行います。この助成金は、赤い羽根共同募金配分金を活用しています。みなさん、ふるってご応募ください。

- 申請条件**：下記の3つの項目をすべて満たしていること
- ①多可町の地域福祉を図ることが目的であること
 - ②団体・グループの構成人数が5名以上であること
 - ③(a)～(d)の掲げるいずれかの活動を行っていること
- (a)当事者支援活動 (b)障害者・児福祉活動
(c)高齢者福祉活動 (d)子育て支援活動

※集落で開催されているサロン活動は対象外です。

- 助成額**：1申請団体にあたり5万円を上限に申請できます。
※但し、事業の予算（20万）範囲内で助成を行いますので、場合によっては、申請額より減額となる可能性があります。

申請期間：4月3日（月）～4月28日（金）

審査：助成金交付決定は、申請書類をもとに申請者の説明を聞いて決定します。申請者には5月上旬に説明日時を連絡します。

交付決定：5月下旬予定

対象経費：旅費交通費、燃料費、通信運搬費、消耗品費、給食材料費、会議費、講師謝金、研修費など。
※人件費や飲食代、寄付金等は対象外となります。

*書類は、多可町社会福祉協議会各支部においております。
詳しいことは各支部までお問い合わせください。

中支部：32-3425
加美支部：30-8151
八千代支部：37-0360

平成28年度の助成先 ◆西脇点訳友の会 ◆多可町介護者の会 ◆ほっこりの会 ◆俵田老人クラブ

傾聴ボランティア養成講座（全2回）

とき 1回目 6月16日（金）
2回目 6月23日（金）
※時間はどちらも
午後1時30分～3時30分です。

ところ 多可町社会福祉協議会本部

講師 稲松 由佳 氏

対象 傾聴に関心がある方、現在活動中の傾聴ボランティア

参加費 無料

持ち物 特になし

定員 特になし

〆切り 6月9日（金）

2年振りに
開催します♪



点訳ボランティア養成講座（全12回）

とき 6月17日（土）～12月2日（土）
※毎月第1・第3土曜日、時間は全て
午後1時30分～3時30分です。

ところ 播磨内陸生活文化総合センター内
点字図書室（旧西脇市図書館）

講師 西脇点訳友の会のみなさん

対象 講座修了後、点訳活動が可能な方

参加費 1,300円（テキスト・用紙代）
※期間中は、点訳用具を無料でお貸しします。

持ち物 筆記用具（ボールペン、マジック）

定員 10名程度

〆切り 6月12日（月）

昨年度は5名の修了者
がありました☆



お申し込み お問い合わせは 多可町社会福祉協議会各支部まで
中支部：32-3425 加美支部：30-8151 八千代支部：37-0360

みんなの広場

女性 2月に義父（舅）の要介護1の女性 60代 生活がスタートしました。今まで元気だっただけに、毎日寝たきり。バルーンを付け、ケアマネ・訪問看護師・診療所医師の往診とバタバタの毎日。姑と「やっと落ち着いたね」と言い合っています。

回答 担当 介護はいきなり始まることも多いと言われてしています。まさに2月は大変な月だったんですね。そんな介護に関わられている方々の集まり、多可町介護者の会の案内を裏表紙に掲載しております。もしよろしければ一度ご参加されてはいかがでしょうか。

感想 ボランティアいろんな種類があるんですね。
男性 40代 いつか何か役に立つ事ができたらいいなと思います。

回答 担当 ボランティアには、活動時間がおおよそ決まっている活動もあれば、ボランティアの方がご都合の合う時間に自由に活動していただける活動もあります。また、何か、したい活動、できる活動をしていただけたらと思います。

感想 余りにも、社協からのお知らせが多すぎ
男性 70代 るように思います。1ページは地域の活動状況、例えば「サロン訪問」でサロンの状況を紹介するとかして、見る人が、自分たちの「社協だより」と感じる紙面にすることも必要かと思いました。

回答 担当 貴重なご提案ありがとうございます。確かに、町内にはふれあいいきいきサロンなどいろいろな活動があります。見ていただく方に、自分たちの社協だよりと感じてもらえるように、工夫していきたいと思います。

土曜日も開設しています！

介護相談日☆

介護支援専門員（ケアマネジャー）が介護に関する相談を受けながら、介護サービス利用のお手伝いをさせていただきます。土曜日でもケアマネジャー1名を配置しておりますのでどうぞお気軽にお越しください。

※訪問などにより不在のこともあります。お越しいただく前にご連絡ください。

4月の
介護相談日

4月
1日(土)、8日(土)
15日(土)、22日(土)、29日(土・祝)



介護相談センター（かみ総合福祉センター内）
加美区市原41 TEL 30-8151 FAX 36-1099

無料法律相談

日ごろ、疑問に思われていることや悩みなど、お気軽にご相談ください。

と き

4月25日(火)
午後1時～3時まで

ところ

多可町社会福祉協議会本部
(中区糀屋)

今回の担当

京阪藤和法律事務所
杉本 大樹 さん

申込み

4月18日(火)まで (要予約)

※相談時間は1人30分とさせていただきます。

※相談時間が限られておりますので相談したい内容をまとめておいてください。

◆当日の相談者は4名としています。
(申込み先着順)

福祉パズル

①	②	③	④	⑤

タテのカギ

- ①「おはようございます。」「こんにちは。」「こんばんは。」総称してなんという？
- ②4月24日（月）は社協本部で〇〇〇〇〇の総会を開催します。
- ③『島』を英語でなんという？
- ④子どもたちに人気のポケットモンスター。略してなんという？
- ⑤レスリングの吉田沙保里選手は「〇〇〇〇〇類最強」と言われていますね。

①～⑤の問題に答えると下記の○に入る言葉になります。その言葉を見つけてください！

答えの分かった方は

- ① 答え ② ご住所 ③ 氏名 ④ ペンネーム
⑤ 年齢 ⑥ 電話番号 ⑦ 感想、社協への要望

はがき 〒679-1133
多可町中区糎屋434-11
多可町社会福祉協議会 行

メール fukusipuzzle@taka-syakyo.or.jp
(題名に福祉パズルと入れて下さい。)

たくさんのご応募お待ちしております。

締め切りは**平成29年4月15日（消印有効）**。

抽選で3名の方に賞品を進呈します。

※ハガキやメールに記載された情報は、福祉パズルでの賞品発送のみに使用し、他の目的では使用しません。
当選者は氏名と市町名を紙面に掲載します。また、いただいた感想・要望は紙面で紹介する場合があります。

①	ヒ	②	ナ	③	マ	④	ツ	⑤	リ
	マ		マ		タ		ナ		ス
	ワ		ハ		ヨ		ヨ		ナ
	リ		ゲ		シ		シ		ー

第122号の答え
ヒナマツリ

当選者

オスカル（中区）
まりちゃん（八千代区）
あり（八千代区）

順不同敬称略

みなさんからのおもしろい問題も募集しています！
1つの問題でもいいのでぜひお寄せください♪

4月福祉カレンダー

1日(土)			買い物ツアー（八千代区）	20日(木)	給食サービス（ユニー会） みどりの家とボランティアの交流（三人官女）
2日(日)		12日(水)	地域見守り訪問（八千代区） 老連八千代支部総会（八千代プラザ）	21日(金)	開拓松葉園とボランティアの交流（個人V） ワークステップはーもにいとボランティアの交流（個人V） 介護者の会総会・交流会（交流会館）
3日(月)	給食サービス見守りシート回収（個人V）	13日(木)	給食サービス（あさがお）	22日(土)	介護相談（社協加美支部）
4日(火)	朗読（草笛の会）	14日(金)		23日(日)	
5日(水)	朗読（せせらぎ）	15日(土)	介護相談（社協加美支部）	24日(月)	給食サービス見守りシート回収（個人V） 遺族会総会（社協本部）
6日(木)	給食サービス（いなばうあ）	16日(日)	ボランティア連絡会総会・交流会（グリーンプラザ）	25日(火)	買い物ツアー（加美区） 無料法律相談（社協本部）
7日(金)	朗読（草笛の会）	17日(月)	給食サービス見守りシート回収（個人V）	26日(水)	買い物ツアー（加美区）
8日(土)	介護相談（社協加美支部） サロンスタッフ研修会（八千代プラザ）	18日(火)	あすなろの郷とボランティアの交流（カトレア+個人V） 買い物ツアー（中区） 地域見守り訪問（加美区）	27日(木)	給食サービス（ももいろクローバー）
9日(日)		19日(水)	買い物ツアー（中区） 地域見守り訪問（中区・加美区） 老連総会（中央公民館）	28日(金)	
10日(月)	給食サービス見守りシート回収（個人V） 朗読（きんもくせい） 老連中支部総会（社協本部）			29日(土)	介護相談（社協加美支部）
11日(火)				30日(日)	

善意銀行への預託

みなさまからのあたたかい善意、
ありがとうございました。

平成29年2月16日～3月15日預かり分

団体・個人名	内 訳	金額(円)
内藤義信	加美区 供養預託	50,000
匿名	供養預託	10,000
匿名	一般預託	10,000
開拓松葉園のみんな	中区 一般預託	3,400
人類愛善会	中区 一般預託	2,000
匿名	一般預託	3,200
藤田吉夫	八千代区 一般預託	10,000
橋尾薫	八千代区 供養預託	20,000
細田熊一	加美区 一般預託	10,000
生命の貯蓄体操普及会 西脇支部	一般預託	1,000
大江周平	加美区 供養預託	金一封

受付順敬称略

あなたの「善意」を
お寄せください！

善意銀行では、みなさんの善意の金銭や物品を預託いただき、効果的に地域に払い出すことによって地域福祉の推進に寄与しています。善意銀行への預託をお願いします。

- 故人の供養のために・・・
- チャリティーバザーやイベントの収益金の一部を・・・
- お誕生日や結婚記念日を記念して など

多可町介護者の会 平成29年度会員募集

ご家庭などで高齢者、認知症の方、心身に障害のある方などの介護をしておられる方や介護経験がある方が集まり、介護について一緒に勉強したり、お茶を飲みながら気軽に話し、情報交換ができる会です。ぜひご加入ください♪

登録資格 家族を介護している方、介護経験者

活動内容 料理教室や健康体操、新年会やクリスマスケーキ作り、他市町の介護者との交流など(予定)

活動日 毎月1回

会 費 年間1,500円 ※10月以降の入会は1,000円になります。



多可町手をつなぐ育成会 クロスロード研修会を開催！

3月4日(土)、加美コミュニティプラザで多可町手をつなぐ育成会主催の研修会を開催しました。

「地域住民とともに障がい者の防災を考える研修会～もしもの時に守れますか？自分を・我が子を・仲間たちを～」と題した今回の研修会には、地域の民生委員、多可町手をつなぐ育成会の会員、防災士など多くの方が参加していただきました。

内容は、神戸クロスロード研究会代表理事をされている浜尚美先生を講師として、クロスロードゲームを開催。参加された方の意見として、「いろいろな方々(障がいを持っておられる方のご家族・防災士など)の思いを聞けて勉強になった」「今の生活のことしか考えておらず、災害のことをもっと考えないといけないと思った」「障がい者の家族の方が健常者に気兼ねしながら生活されていることを知り、(今までに比べて)支援が必要だと感じた」「このクロスロードゲームを自分の住む集落でも行ってみたい」などたくさんの心強い感想が出ました。

最後に、会員さんの感想で、「この研修会で親子共々守られているんやな」ということを感じた」というのを聞き、多可町は集落で助け合える町、もっとこのような意見を言い合える機会が必要だと感じました。



具体的な
防災対策

- ・非常用持ち出し袋の準備(特に水)
- ・ハザードマップを見える所に貼っておく
- ・家具の固定
- ・福祉施設との話し合いなど
- ・家族と防災について話し合う

申し込み・お問い合わせ先

- | | | | | | |
|----------------|--------------|-----------------|--------------|-------------|--------------|
| ◆本部・中支部 | Tel. 32-3425 | ◆加美支部 | Tel. 30-8151 | ◆八千代支部 | Tel. 37-0360 |
| ◆介護相談センター | Tel. 30-8151 | ◆デイサービスセンターやすらぎ | Tel. 30-8151 | ◆ヘルパーステーション | Tel. 30-7110 |
| ◆グループホームやすらぎの郷 | Tel. 30-8153 | ◆春蘭荘 | Tel. 36-1381 | | |